



## 小川知事訪問



11月14日、小川知事が中牟田小学校を訪問されました。この日は、田頭町長や多くの来賓も訪問され、子どもたちと一緒に、福岡県産「元気つくし」の新米や、有明海で育てられた「のり」、筑前町産の野菜などを使った給食を食べて頂きました。

短い時間でしたが、小川知事は、子どもたちのクイズに答えられたり、流暢な英語を披露されたりと、知事と一緒に楽しい時間を過ごすことができました。

県知事訪問の様子は、福岡県のHPでも紹介されていますので、ぜひご覧ください。

## 地域公開授業



11月26日(土)に、「地域公開授業」が行われました。

1時間目の「学びタイム」では、「赤ペン応援隊」として、多くの皆様に、子どもたちのサポートをしていただいています。ありがとうございます。

2時間目の公開授業では、「説明力」を高める授業を公開しました。説明するために、書く活動も大切にしています。

3時間目の「学校懇談会」では、「挑んでいこう!私の学力」をテーマに話し合いました。PTA 会長、児童、保護者、先生から、「目標を決めて学習をすることが大切」「失敗しても次にチャレンジしていくことが大切」などの意見が出され、「パネルディスカッション」が深まりました。最後に、学校運営協議会の鈴木副会長が、『何事にも、「よおーし、やるぞ!」の気持ち』を持って取り組むことが大事だとまとめられました。



## 命の大切さ

先日、体育館の入口に大きな段ボールが置いてありました。中を見ると、子猫が入っていました。学校が、子どもたちが、どうかしてくれるだろうという思いで置かれたのかもかもしれません。

しかし、「動物愛護管理法」には、飼い主は最後まで責任をもって飼うことが明記されています。犬や猫は15年から20年も生きる動物です。寿命や健康状態、環境など、最後まで飼いきれるかを考えてから飼いなさいということです。この法律は、動物取扱、動物の虐待を防止して命を大切にすること(愛護)と、自分の飼っている動物が周囲に迷惑をかけないように飼養すること(管理)という2つの目的から作られた法律です。最後まで、責任を持って育ててほしいと思いました。命の大切さを考えさせられるできごとでした。